

平成20年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

- 1 審議会名 平成20年度 第2回図書館協議会
- 2 日 時 平成20年8月25日 午後1時30分から午後4時まで
- 3 会 場 明科総合支所大会議室
- 4 出席者 齋会長、熊井副会長、清沢委員、金子委員、八賀委員、栗林委員、小林委員、望月委員、加々美委員、三重野委員、小原委員、武居委員、青木委員、
- 5 市側出席者 望月教育長、大内教育次長、高原文化課長、高山係長、宮澤係長、百瀬図書館長、山崎図書館長、沖主査、奈良澤主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 平成20年9月22日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

(1) 開 会 (文化課長)

(2) あいさつ (教育長)

(3) 協議事項

- ① 地域図書館の開館時間に差異を設けることの是非について
- ② 豊科交流学习センターについて
- ③ 中央図書館開館へ向けた準備の進捗状況について
- ④ 視聴覚障害者サービス及び図書館ボランティアについて
- ⑤ その他

(4) 閉 会 (協議会長)

2 協議事項

① 地域図書館の開館時間に差異を設けることの是非について

会長…地域ごとに差異があるが統一化したい。開館時間が短縮される館もあるが、中央図書館を開館しておくことで市民のご理解を得たい。

委員…中央図書館が月曜日から金曜日の8時迄、そして土曜日が6時迄とあるが平日を短縮して土曜日を8時までにしたらどうかという意見を出したが、その点どう検討していただいたのか。

事務局…中央館は木曜日を休館日としたい。金曜日は利用者が多いと思われるので長くしたい。土・日・祝日が午前9時から午後6時までとなっているのは、アンケート等の集約結果である。土曜日の夜間の利用者はそれ程の数ではないので、6時までとしたい。

事務局…中央図書館が午後8時迄開館する理由は勤労者・学生の夜間利用者をねらったのことで地域館が午後6時迄なのでそれ以降の利用者の為。土曜日は週休2日が定着して昼間比較的、利用しやすいので6時までとしたい。

委員…穂高の地域にある図書館が中央図書館とはいえ2時間長く開いていても利用者があるか疑問に思う。土曜日はゆっくり閲覧できるように8時まで開館した方がよいのではないかと。

委員…行政の意見に賛成。これでスタートして様子を見て時間を再検討するという案はどうか。

委員…条例変更はどれ位先に決められるのか。半年位で変えられるのか。

事務局…半年程で変更は出来ない。市として初めて中央館というものを位置付け、夜8時まで開館してその後それが定着、それでも利用者が少ない、その原因を把握するそれには複数年かかるであろう。

委員…統計的にみても9時台の利用者数は少ないので人件費・維持費の面から考えても開館時間を遅くしてもよいのではないかと。

委員…まずは、人員確保を保障して欲しい。それが保証されない場合は開館時間を考え直す必要が有る。

委員…自宅から近い地域図書館へ通う人の方が多いと思うので是非地域図書館の利用しやすさの充実を。

委員…事務局から出された案ということは人員確保もある程度想定されている筈。この案で進めて、但し、条例を1年後に見直す最初からうたったらどうか。

事務局…条例は、1年後に又変えるという文言は入れられない。最低2年位やって様子を見たい。

委員…その2年というのは、決まっているのか

事務局…決まっていない。

委員…1年半後位というのはいかがでしょうか。

事務局…1年半後に変えるという前提で条例を議案には出せない。

副会長…この問題はなかなか、まとまるという状況にはならないと思う、この案で進めてその後、利用者の意見を聞いたりしながら、関わった者として行政と図書館側の案を見守っていきたい。

委員…図書館は住民サービスであるので、図書館が長い時間開いている事は市民の気持ちが入ると思う。

事務局…中央図書館が午前9時開館となれば他の地域図書館にはない役割等も担い、多くのサービスが提供出来ると思う。人員配置的な問題は解決しなければならない課題である。

委員…以前、司書・館長の話では今現在の人員では10時開館がギリギリだという話だった。それが中央館では確実に無理なく人員配置された上での9時開館が約束されるのか、そうでなければ必ず職員に負担がいくので10時開館にしたほうが良いのではないか。

事務局…9時開館となると職員は8時出勤となり、そのローテーションが組めるかどうか検討したい。

事務局…中央図書館の開館にあたって今の穂高の図書館の職員体制が良いとは思っていないので必ず職員増員をしなければいけない。今後の検討していく事柄だと思う。

委員…検討していくというだけでは、とても賛同出来ない。地域図書館も十分に人がまわっているとは思えないのに中央図書館に更に人員をはける余裕が市に有るのか心配。見切り発進ではないか。

事務局…今現状で何人増やすとは言えないが現状の体制で出来るとも思っていない。

委員…そうではなく、予算を考えて人材採用できるゆとりがあるかどうかの計算は出来るはず。

事務局…予算取りの話か？

委員…そうではない。中央図書館の開館時間が決定しオープンしたが人員は確保出来なかった。となると職員が大変な苦勞を負う、そんなリスクを負うより就労時間を10時から7時迄とか6時迄とかに短くして、その後、市民から長くして下さいという意見が出たら条例改正で時間を長くするというのはいかがでしょうか、ということ。

委員…最初10時、開館と公言した後で9時に変更するのは、たやすいが逆はかなりの抵抗があるかもしれない、そのあたりも考えて検討して欲しい。

会長…各地域図書館の実情を考え出すと、まとまらない、図書館の仕事の内容についてはここで取り扱う問題ではない。内容については事務局に検討してもらい出た実情の内容検討をする。条例の事は事務局に任せなければならない事であるので、これで公表し一定期間様子を見るということにしたい。

委員…前回の最後にこの問題を決定する際にこういう意見を踏まえてあとは事務局に任せ、それを条例化する為の素題として示す。と言った。協議会は賛否を問うたり自分の意見を反映したりする場ではない。行政や議会が決めた条例案が妥当かどうかを市民が判断する。我々はそれまで多少の意見を申し合っただけということで充分ではないかと思うので、これで議論は打ち切りにして欲しい。

会長…今の意見で、この問題を締め切りとしたい。
次の休館日については意見が無いのでこれでやる事とする。

② 豊科交流学習センターについて

事務局…説明

会長…今日は、これについて協議するというのではなく質問も無いので以上とする。

③ 中央図書館開館へ向けた準備の進捗状況について

事務局…説明

会長…ツアーの公募の方法はどのように行うのか。

事務局…「広報あづみの」と防災無線等を考えている。
人数が満たない場合は協議委員全員参加となるが人数多数の場合は事務局抽選で30名とする。

会長…山梨県地場産業センターは、富士見とは違うのか。

事務局…違います、

委員…新図書館の購入希望本の選書の為に行くのか。購入本と未購入本とが分かる資料はあるか。

事務局…資料は考えていなかった。

委員…無差別に選んで良いのか。

事務局…その会場にある本の中から選ぶということになる。

館長…自分が選んだ本をマークで調べる。と既にその本は入っているということはある。

会長…それでは、3番の問題は以上にします。

④ 視聴覚障害者サービス及び図書館ボランティアについて

会長…これからの方針、運営の仕方を含めて説明をお願いします。

事務局…説明

副会長…安曇野市はボランティア団体が漠然としているが仕方がない。松本で新しく発足した「おはなし会」が規約をつくったようなので、もしも穂高でも発足するようならば参考にして欲しい。

会長…サークル・ボランティア団体との連絡の取り合い方、市と助け合ってやっていった方が良いのではないか。という点についての考えをお願いします。

委員…図書館でボランティア活動している方達が横の連絡をし合い、遠方迄出向かなくても近隣から行くという事が出来るようになって欲しい。
いろいろなグループが持っている財産の一覧表を作って、その貸し借りができれば有難いと思う

副会長・・・松本ではボランティアの要請が多く応じきれない状態。本の修繕等も協力してやっている。21年度は図書館大会が行われるので図書館側としては、その分科会のとりまとめを協力してやって欲しいと考え、ボランティア側としては協力するので講演会等をやって欲しいと考えている。お互いに持ちつ持たれつでやっていきたい。という話し合いを松本市ではしていた。

委員・・・他地域のボランティア団体との交流で持っているものを交換し合うと自分達の会の中も広がるのでボランティア団体の取り纏めは大事な仕事で是非やって欲しい一緒にやっていきたいと思う。

副会長・・・費用面・形態面が言われるようになる事を心配している。松本も指定管理者制度の話が出ている。

委員・・・他ボランティア団体との交流を求めている。団体の取り纏め・情報交換・勉強会をしていきたい。

委員・・・ボランティアが子ども中心の読書の推進だけに力を入れるが、一般成人や市民を対象にしたボランティアが存在しなくても良いのか。今後のボランティアに対する考え方をまとめて欲しい。中央館が出来れば尚、手伝って欲しい事が増える筈、職員からそれを出してもらい、ボランティアがお手伝い出来れば良いなと考えている。これもボランティアの一つかなと思う。

委員・・・子ども向けのボランティアだけでなく他の分野で活躍するボランティアを育てて欲しい。

委員・・・明科の交流学習センターでは、図書館ボランティアも、その他のグループも全員ひまわりサポーターとして登録される。その人達が、図書館を含めて年に何回か内外の掃除・窓拭き・各祭りの協力をしている。そういう形で参加している。

会長・・・今回、新しく出来るにあたってボランティアを組織立てるとかNPO法人にするとかいうことも考えて良いのではないかと。又、活動を続ける為には資金もいる。今迄は自己資金でやってきた事がたくさんあるがお互いに連絡し合ってまとめていき有効な活動が出来るように目指したい。

委員・・・社協でテープ録音をしている方達との協力も是非考えて欲しい。

会長・・・社協の問題は継続希望とする。書架の整理・痛んだ図書の修理をボランティアがやれる体制が出来るかどうかの問題も協議事項である。

委員・・・リクエストなのですが図書館長の顔が薄いと思うので図書館長の本・図書館の本に関する考え方・選び方・読み方、図書館の使い方・裏技の講演会等をやって欲しいと思う。

委員・・・穂高の図書館で例えば、朝日新聞の書評に掲載されている本を図書館で探しても無いので、もう少し力を入れて検討して欲しい。

館長・・・穂高図書館はその書評を見て本を買っていない。資金のうちのいくらかを良書として選定されたセット本買いつけてそれ以外は市民の方からリクエストであげて頂いてそのうちの何点かを買うということになっている。

会長・・・それではこれで終了します、貴重な意見がたくさんでした。ありがとうございました。